

も枝豆でも、椿でも梅でも、あ、いいなと思った時は、みな仏さんですー。

小倉遊亀は70歳を過ぎてから、ますます盛んに、花、静物画、肖像画、仏画といった多彩なテーマに向かいます。それぞれに充実した内容が認められる理由は、「いいなと思ったら向こうと自分が同じものになる」という独自の世界を追究しているためだと思われます。天寿を全うするまで、その歩みはしっかりしたものでした。

本展「小倉遊亀展 人・花・仏」では、小倉遊亀の画業を特徴づける作品をテーマ構成し、その類い稀なる画家の、瑞々しく親しみのある絵画世界をお楽しみ頂きます。

『チューリップ公園一帯が“点”から“面”に』

砺波市文化会館 館長 有澤 哲郎



砺波市文化会館は、ご承知のようにチューリップ公園の隣にあり、道の駅となみとも隣接し、近くには砺波郷土資料館や砺波市美術館、チューリップ四季彩館があります。

この一帯は、市内でも有数の人が集まる、賑わいのあるエリアであり、市の中心的な区域でもあります。

砺波市文化会館では、毎日のように各種団体の会議や総会、音楽練習が、砺波市美術館では、郷土作家の作品展示はもとより、全国レベルの企画展を開催し、子ども対象のワークショップも開催されています。

また、チューリップ公園には、親子連れやカップル、高校生が散歩し、チューリップ四季彩館や道の駅となみには、県内外から多くの観光客が訪れており、各施設は、それぞれ特徴を生かして運営されています。

これらの施設が連携することで、砺波市における滞在時間を長くし、都会にはない、広々とした散居村の景観や清流庄川の流れ、温泉に入り砺波の風土と食を味わっていただき、砺波の良さを広めていければと考えています。

各々の施設が“点”であるならば、ソフト面の工夫と連携により“線”で繋ぎ、近い将来、チューリップ公園周辺一帯が“面”となり、多くの市民や県内外の観光客が賑わう、砺波市の中心的な憩いの場所となるよう願うところです。

となみ芸術文化友の会サロンコンサート

『歌とヴァイオリンの夕べ』

5月26日(日)砺波市美術館1階エントランスホールにおいて、砺波市表町(南町)出身で横須賀市在住の野村進さん(歌)と教え子の松本有希子さん(ヴァイオリン)を招き、となみ芸術文化友の会サロンコンサート「歌とヴァイオリンの夕べ」(出町公民館共催)が開催されました。

懐かしい日本の歌「この道」「赤とんぼ」「浜千鳥」をはじめ、高校一年生の時、不慮の事故で亡くなった堀明子さんが小学生時代に書いた詩に野村さんが曲をつけた「四季の色」やヴァイオリン独奏「愛の喜び」も披露され、100人を超える聴衆に深い感動を与えました。野村さんを囲むふかまつでの親睦会も盛り上がりしました。



左/松本有希子(VI)・右/野村進(Vo)

《となみ芸術文化友の会 研修旅行のお知らせ》

「信州の美術館と別所温泉の旅」10月23日(水)～24日(木)

水野美術館・池田満寿夫美術館・無言館・信濃デッサン館・ちひろ美術館等

昼食：竹風堂(栗おこわ山家定食)、樽木野(そば定食)予定

詳細は後日連絡

- 編集後記 -

今年の県展写真部門で、砺波市の川堰あけみさんの作品「にらめっこ」が県展大賞受賞となりました。出町子供歌舞伎に出演の小学生役者二人が向かい合っている写真です。県外審査員の講評は「役者の子供の作品は、多く出品されますが、大胆で斬新な構成により、見る側に強いインパクトを与える作品です。」作品は今、川堰さんからお借りして美術館の館長室にありますので、ご覧ください。この便りが届くころには梅雨も明けていでしょうか。(0)

なめくぢの左曲りと右曲がり 高野素十